

子どもたちの笑顔のために



今年度も各学校園で、「子どもたちの笑顔のために」教育活動の見直しを図られてきました。先生方からは、どのような状況にあっても学びを止めないように、新しい生活様式を取り入れながら、学校行事、児童会・生徒会活動等の見直しを図りながら教育活動に取り組んでいただきました。

「支援」の関係においても、子どもが新しい人間関係の在り方を経験するなかで、これまで以上に人とかかわり合う大切さに気付くことができたと思います。

令和4年度も支持的風土の醸成を図るために「傾聴・受容」を基本に、「支援」と「自律」の関係を育む活動に意図的に取り組んでいただきたいと思います。



令和4年度も



2つのR

TEACH と COACH

これまでも学校訪問等でご紹介してきましたが、先生方が子どもとかかわるときには、多面的な子ども理解を深めていくことと、ルールとリレーション（2つのR）のバランスをとって指導・支援に当たることが大切です。子ども理解が深まるなかで、ルールは改善され、リレーションも深まります。さらに、リレーションが深まることで子ども理解も深まっていきます。こういった指導・支援を先生方が手本となって継続することで、学級の支持的風土も醸成されます。

また、先生方が指導・支援に当たるときには、「TEACH」と「COACH」を意識して子どもとかかわることが大切です。「TEACH」は、先生が答えをもっています。教えるべきことを子どもにしっかりと伝えて納得させます。「COACH」は子どもが答えをもっています。その答えを子どもの発想を大事にしながら先生が導いて引き出します。この「TEACH」なのか「COACH」なのかを先生方が様々な場面で判断し、バランスよく適切に指導・支援に当たることが重要になります。これからの「支援」と「自律」の関係づくりでも意識して取り組んでください。

先生方の指導・支援の参考にしていただこうと考え、e-Supportに「テロワール」のバックナンバーと学級活動を中心に支持的風土の醸成のヒントをまとめた「GAKKATSUサプリメント」のページをアップします。学級づくりを進めるなかでご活用ください。

「支持的風土の醸成のヒント」

GAKKATSUサプリメント

- No.1 学級開きを考える
- No.2 人間関係形成の見方
- No.3 学級経営での心構え
- No.4 学級に居場所と仕事①
- No.5 学級に居場所と仕事②
- No.6 かかわり合う力を育てる
- No.7 話し合える学級をつくる
- No.8 話し合い活動のススメ
- No.9 話し合いの力を育てる

GAKKATSU